

□講義科目（基礎科目）

科目名	スポーツ共生社会特論	2 単位
担当者	藤田紀昭	
テーマ	国内外のスポーツ界に見られる格差、差別、不平等の実態について学び、それを乗り越えていくための方向性と手段について学修する。	
科目のねらい	<p>&lt;キーワード&gt; ① 共生社会 ② 障害者 ③ 人種 ④ ジェンダー ⑤ 途上国</p> <p>&lt;内容の要約&gt; 共生社会とは何かについて理解したうえで、現在、スポーツの現場においてみられる様々な格差、差別、不平等などの実態について学ぶ。具体的には障害者のスポーツの実態、スポーツにみられる人種差別の実態、スポーツにおけるジェンダー問題、先進国と途上国のスポーツに見られる格差である。さらにこれらの実態を乗り越えようとしている各種事例について知り、スポーツあるいは体育を通しての共生社会の実現の理論と方法を学修する。また、これらに関する最新の研究論文の講読を行う。</p> <p>&lt;学習目標&gt; 1. 共生社会の在り方、社会的背景、歴史について説明することができる。 2. スポーツの現場においてみられる格差、差別、不平等などの実態について具体的な事例（障害、人種、ジェンダー、途上国）をあげて説明することができる。 3. スポーツの現場においてみられる格差、差別、不平等などを解消としている事例について説明し、そのための理論と方法について説明することができる。 4. スポーツを通しての共生社会形成についての研究成果をあげることができる。</p>	
授業の進め方	<p>第 1 回 オリエンテーション 第 2 回 共生社会の在り方について（歴史、社会的背景、概念） 第 3 回 スポーツと障害者：格差、差別、不平等の実態 第 4 回 スポーツと障害者：共生社会への取り組み事例（インクルーシブ体育を含む） 第 5 回 スポーツと障害者：研究論文講読 第 6 回 スポーツと人種：格差、差別、不平等の実態 第 7 回 スポーツと人種：共生社会への取り組み事例 第 8 回 スポーツと人種：研究論文講読 第 9 回 スポーツとジェンダー：格差、差別、不平等の実態 第 10 回 スポーツとジェンダー：共生社会への取り組み事例 第 11 回 スポーツとジェンダー：研究論文講読 第 12 回 スポーツと途上国：格差、差別、不平等の実態 第 13 回 スポーツと途上国：共生社会への取り組み事例 第 14 回 スポーツと途上国：研究論文講読 第 15 回 本授業のまとめ</p>	
事前学習の内容 学習上の注意	<p>&lt;事前&gt; 授業の終了時に次回の内容を説明するので、その内容に沿って予習をする。（1時間） &lt;事後&gt; 授業内容の復習をする。（1時間）</p>	
本科目の 関連科目	スポーツ社会学特論、スポーツインテグリティ特論、スポーツ哲学特論	
テキスト	特に指定しない	
参考文献	陣野俊史『サッカーと人種差別』文藝春秋。川島浩平『人種とスポーツ』中央公論。藤田紀昭『障害者スポーツの環境と可能性』創文企画。日本スポーツとジェンダー学会『データで見るスポーツとジェンダー』Megan Chawansky, Lyndsay Hayhurst 他『Innovations in 'Sport for Development and Peace' Research (ThirdWorlds)』Routledge	
成績評価方法 と基準	<p>期末試験 70% 授業内レポート、課題 30% 100 点満点で 60 点以上を合格とする</p>	